

最上川流域治水宣言

～氾濫被害の最小化に向け、流域が一体となった治水対策を推進します～

近年、県内においても自然災害が相次いでおり、令和2年7月豪雨災害では、本県の風水害としては過去最大の被害額となりました。

今後の気候変動に伴って増加が予想される、想定を超える洪水に備えるため、流域のすべての関係機関や住民の皆さまと連携して治水に取り組む「流域治水」をしっかりと進めてまいります。

地域住民の皆さまが安心して生活できる災害に強い安全・安心な社会の実現を目指し、以下の3つを基本方針として取り組むことをここに宣言します。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすため、
治水対策や内水氾濫対策、土砂災害対策、雨水貯留対策などを進めます。
- 被害の範囲を減らすため、
災害の危険性を考慮した暮らし方とするなど、安全・安心なまちづくりを進めます。
- 被害を軽減するため、
ハザードマップの充実や的確な防災情報の発信、国・県・市町村間の連携を密にした広域避難など避難体制の強化を図ります。

最上川の地域・地形特性を踏まえた取組みを推進するため、地域住民の皆さま及び国、県、市町村など関係機関で協力体制をつくり、情報共有を図ってまいります。

令和 3年 3月 30日
最上川流域治水協議会

最上川流域治水協議会 構成員

山形市長 米沢市長 鶴岡市長 酒田市長 新庄市長 寒河江市長 上山市長
村山市長 長井市長 天童市長 東根市長 尾花沢市長 南陽市長 山辺町長
中山町長 河北町長 西川町長 朝日町長 大江町長 大石田町長 金山町長
最上町長 舟形町長 真室川町長 大蔵村長 鮭川村長 戸沢村長 高畠町長
川西町長 小国町長 白鷹町長 飯豊町長 三川町長 庄内町長 遊佐町長

最上広域市町村圏事務組合理事長

農林水産省 東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所長

林野庁 東北森林管理局 山形森林管理署長

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター 東北北海道整備局長

気象庁 山形地方气象台長

山形県（ 防災危機管理課長、農村整備課長、森林ノミクス推進課長、
都市計画課長、下水道課長、河川課長、砂防・災害対策課長、
建築住宅課長、企業局電気事業課長、村山総合支庁建設部長、
最上総合支庁建設部長、置賜総合支庁建設部長、
庄内総合支庁建設部長 ）

最上川中流土地改良区理事長 上山市土地改良区理事長

東北電力株式会社 山形発電技術センター所長 庄内発電技術センター所長

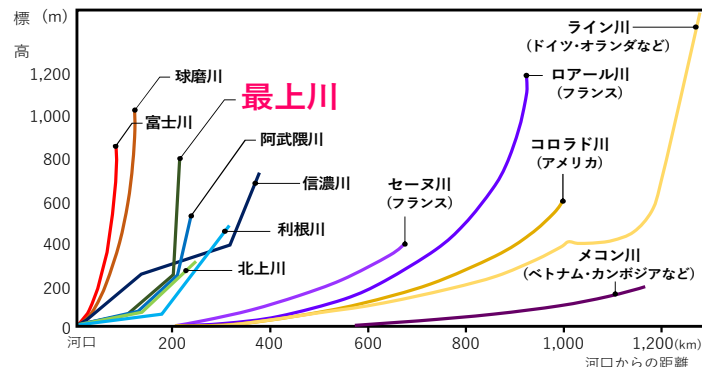
国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所長 酒田河川国道事務所長
新庄河川事務所長 最上川ダム統合管理事務所長

最上川水系の地域・地形特性

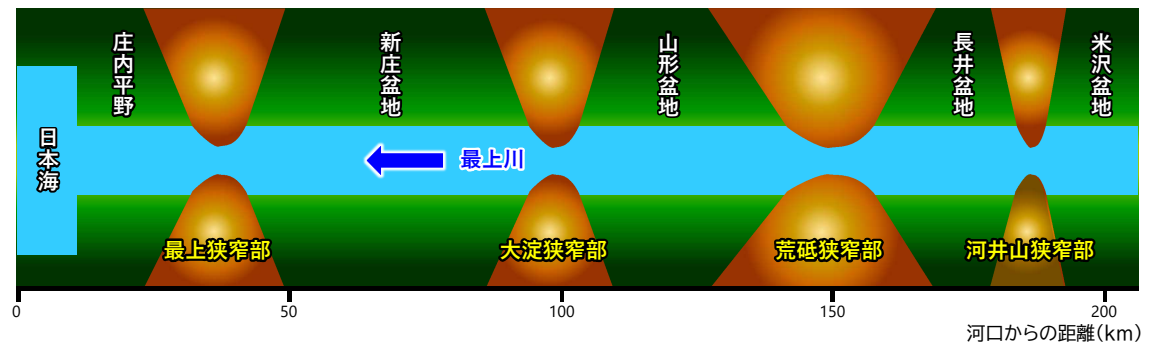
- 県を貫流する最上川の流域は県面積の75%を占め、灌漑や舟運など、古くから県の母なる川として親しまれてきました。
- 一方で日本三大急流の一つとして知られるとともに、狭窄部と盆地を交互に繰り返す地形が特徴で、狭窄部の影響を受け度々甚大な洪水被害に見舞われています。
- 特に令和2年7月豪雨では、大石田など主要な観測所で計画高水位を超過する観測史上1位の水位を記録し、越水や氾濫により、中流部・上流部において甚大な浸水被害が発生しました。

～氾濫被害の最小化に向け、流域が一体となった治水対策推進のための主な取り組み～

- 1 上下流、左右岸など他の地域の状況をよく知り、いざという時に助け合うことができるよう、日頃から顔の見える協力体制をつくります。
- 2 令和2年7月豪雨を踏まえた新たな水位低下対策を推進するとともに、あらゆる関係者の協働のもと、流域内に降った雨をできるだけ地域において貯留し、川への流出を抑制する対策を行います。
- 3 確実な避難のため、国・県・市町村間の連携を密にして広域的な避難体制をつくとともに地域にも協力を要請します。
- 4 地域住民に対し自らの地域の水害リスクについて、気候変動も踏まえた情報を提供し、より安全な行動及び社会活動をとってもらうとともに、積極的な防災活動への参加を促します。
- 5 治水施設等の整備を国・県・関係市町村の協力のもとで、しっかりと進め、施設機能保持や流下能力確保のための維持管理を行うとともに、整備状況に応じた水害リスク情報等を速やかに住民及び関係機関に情報提供します。



※最上川と他河川の勾配



※狭窄部と盆地を交互に繰り返す地形が特徴(狭窄部では水が流れにいため上流で氾濫)